



平成 24 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名            オリンパス株式会社  
代表者名           代表取締役社長執行役員 笹 宏行  
                         (コード：7733、東証第 1 部)  
問合せ先           広報・I R 室長 百武 鉄雄  
                         (TEL. 03-3340-2111(代))

(訂正)「子会社の解散に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 24 年 4 月 27 日付の当社適時開示「子会社の解散に関するお知らせ」の内容の一部に訂正がありますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

訂正内容（訂正箇所は下線部にて表示し、訂正のない箇所は省略しています。）

1. 解散の理由

(訂正前)

これに伴い、当社の本件三社に対する貸付金等債権合計 171 億円（株式会社アルティスに対する貸付金 50 億円、株式会社ヒューマラボに対する貸付金 56 億円、NEWS CHEF株式会社に対する貸付金 65 億円。いずれも解散に関連する新たな貸付及び費用を含みます。）について取立不能となるおそれが生じることとなりました。これにつきましては、当社では、平成 24 年 3 月期第 3 四半期までに貸倒引当金156 億円を計上済みであります。

(訂正後)

これに伴い、当社の本件三社に対する貸付金等債権合計 171 億円（株式会社アルティスに対する貸付金 50 億円、株式会社ヒューマラボに対する貸付金 56 億円、NEWS CHEF株式会社に対する貸付金 65 億円。いずれも解散に関連する新たな貸付及び費用を含みます。）について取立不能となるおそれが生じることとなりました。これにつきましては、当社では、平成 24 年 3 月期第 3 四半期までに貸倒引当金148 億円を計上済みであります。

4. 今後の見通し

(訂正前)

上記「1. 解散の理由」で述べたとおり、当社の本件三社に対する貸付金等債権合計 171 億円について取立不能となるおそれが生じることとなりましたが、当社では、平成 24 年 3 月期第 3 四半期までに貸倒引当金156 億円を計上済みであります。本件三社の解散に伴う平成 24 年 3 月期の損失見込額は、単体・連結ともに 19 億円であり、これによる当社業績への影響は軽微であります。

(訂正後)

上記「1. 解散の理由」で述べたとおり、当社の本件三社に対する貸付金等債権合計 171 億円について取立不能となるおそれが生じることとなりましたが、当社では、平成 24 年 3 月期第 3 四半期までに貸倒引当金148 億円を計上済みであります。本件三社の解散に伴う平成 24 年 3 月期の損失見込額は、単体・連結ともに 19 億円であり、これによる当社業績への影響は軽微であります。

以 上